

水におぼれたら



入梅のシーズンになりました。まもなく本格的な夏が来て、海へ山へとアウトドアの楽しい季節がやってきます。海や川の水難事故をなくすように注意しましょう。



水中での人工呼吸

①首をはさむ



③すぐに口対口の人工呼吸をする



②仰向けにする



④背板を溺水者の下に入れ運ぶ



水におぼれたら
人工呼吸や心臓マッサージなど応急手当をすぐに行いましょう。呼吸が止まると、数分間で心臓も停止します。応急手当を早く開始すれば、助かる可能性もたいへん高くなります。

水におぼれた場合の応急手当は、まず、次のことを確かめてください。
・意識はあるか
・呼吸はしているか
・脈はあるか
○意識のない場合
・まず気道（空気の道）確保をしてください。おぼれた人の口のなかに嘔吐物があれば取り除き頭を後ろにかたむけてから人工呼吸を開始してください。
・脈のない時は人工呼吸といっしょに心臓マッサージもしてください。
・救急車を呼び、まわりの人に協力をたのみましょう。

水の事故をなくすため、次のことを守ってください。
(1)子ども一人で海や川には行かない。行き先を必ず家族に言ってでかけましょう。
(2)泳ぐ前には必ず準備運動をしましょう。
(3)お酒を飲んだら泳がないようにしましょう。

応急手当の講習会は
消防署では救命処置向上のために救急講習会をいつでも開催します。職場やグループなど10人以上でお申し込みください。講習会についての問い合わせ、申し込みは、消防署救急救助隊（☎68-5119内線105）までどうぞ。

注意事項
・おぼれた人を助ける時は、棒やロープ、浮輪を使いましょう。おぼれた人は必死に助ける人にしがみついてくるので、注意しましょう。
・助けた人が呼吸をしていない場合は、水中でも人工呼吸をしてください。一刻を争いますが、あきらめずに続けてください。

・乾いた服や毛布で温めてください。
・意識がなくても呼吸や脈がしっかりしていれば、嘔吐物が気管に入らないように顔を横にむけて出してください。
○意識のある場合
・静かに寝かせ、体を温めてください。
・さらに全身マッサージをして保温に努めてください。
・落ち着いたら、医師に診断してもらうようにしてください。